



特集1
いばら騎士グリーンの冒険

決算を学んで レッドを救出!

—平成 25 年度決算—

問合先 財政課 ☎ 620・1612

いばら騎士とは…「いばらきの今と未来をまもるため!!」を合言葉に結成された騎士団。



グリーン
最高騎士になるため勉強中



レッド
何でも知ってる最高騎士





決算を学んで レッドを救出!

黒字か赤字かは 決算を見よ!



ブルー
いつもクールなお姉さん

予算・決算ってなあに？

グリーン（以下◆） ブルー、助けて！
茨木市が赤字かどうかってどうやってわかるの？

ブルー（以下♥） 落ち着きや、グリーン。それにはまず、市の決算を見る必要があるやで。

◆ 決算ってなあに？ 予算とか決算ってよく聞くけれど、わからないよ。

♥ 予算は、1年間に使うお金と使ってお金の計画を立てることを言うねん。それに対して決算は、実際に1年間に使ってきたお金と使ったお金を分類してまとめたものやで。

毎年公表しないといけない？

♥ 予算や決算は、毎年市から公表されているで。

◆ 毎年する必要ってあるの？

♥ あるで！税金の使い道や、市がその年に行ったサービスと市の財政状況を市民に知ってもらうというシッカリと

した目的があるねん。

会計別に確認

♥ さあ、さっそく表1を見てもらおうか。

表1 会計別決算の状況 (単位：億円)

会計	一般会計	財産区	国民健康保険事業	後期高齢者医療事業	介護保険事業	公共下水道事業
歳入	868.4	55.4	283.2	31.3	142.9	84.8
歳出	850.2	1.2	281.8	30.2	140.1	84.6
繰越	8.7	—	—	—	—	0.1
差引	9.5	54.2	1.4	1.1	2.8	0.1

※差引＝歳入－（歳出＋繰越）

この表では、差引欄に注目やで！



◆ どの欄を見れば赤字か黒字かがわかるの？

♥ 差引欄を見ればわかるで。会計はそれぞれの財布から成り立ってるねんけど、全部の会計で黒字になったことがわかるやろ。

◆ よおし！決算の状況は黒字なんだ

ね。

♥ ところで、25年4月に作った一般会計の当初予算額は、814億5千万円やっでん。

◆ あれ、歳入・歳出のどちらも、そこから大きく増えているね。

♥ それは、当初予定していなかったことに対応するため、年度途中で補正予算を組んだからやで。それに加えて、今回大きく増えている理由として、国の緊急経済対策として実施された補助金を活用したことが挙げられるねん。この補助金で、新たな交流拠点となる市民開放施設の整備等の将来のまちの発展につながる事業や、防災行政無線、消防車両であるしご車の整備等の安全・安心な市民生活を確保する事業を行ってん。

◆ なるほど。だから歳入・歳出の決算額が当初予算額よりも大きくなったんだね。

歳入・歳出の内訳

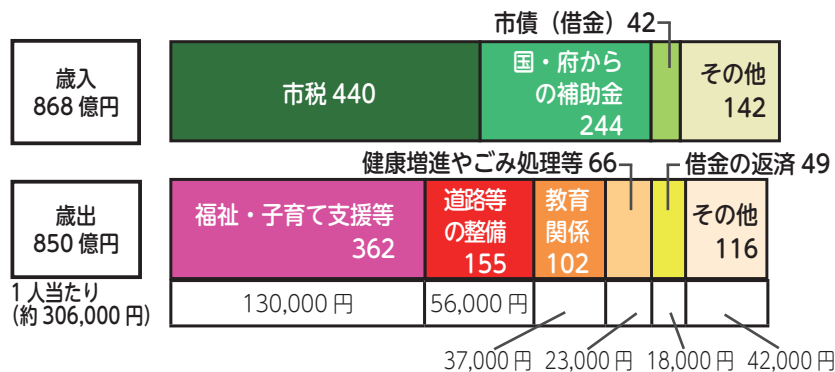
◆ それで、一般会計の歳入と歳出の中身はそれぞれどうなってるのかな？

♥ グラフ1を見て！歳入は、市税が約半分で一番多く、次が国や府からの補助金で約3割やな。

◆ 市民が納める税で、市の財政は成り立っているんだね。

♥ そのとおり！一方歳出は、福祉や子育て支援に使われるお金が一番多くて、全体の約4割。その次に多いのは、

グラフ1 一般会計の歳入・歳出の内訳 (単位：億円)



内訳がわかると、市がどんなことに力を入れているかがわかるね。



◆ こんな割合だったなんて知らなかったな。市民1人当たりだと福祉や子育て支援に、1年間で13万円かかっているんだね。

♥ そうそう。こんなふうには1人当たり換算すると、身近に感じられるやろ。



クローズアップ! 市税の使い道

赤字じゃないの? 力が出ない... 市民のくらしやまちの発展のためにお金を使ったんだ!

赤字じゃないの? 力が出ない... 市民のくらしやまちの発展のためにお金を使ったんだ!

よかったあ先を急ごう

ほっとけん 青少年健全育成をめざす犬

具体的なお金の使い道

- ◆ お金を有効に使えているかだなんて... わからないよ。
- ◆ ほっとけん(以下) 元気だして、グリーン。ぼくがついているよ。
- ◆ ほっとけん! 頼りにしているよ。
- ◆ まず、さつきブルーと見たグラフィの歳出の内容をもう少し具体的に調べてみよう。例えば、25年度は下の写真のようなさまざまな市民サービスの向上のための事業を行ったよ。
- ◆ いろいろあるね! でも、ちよっと待つて。この中に、すでに利用できているサービスと、今は整備中だけど今後使えるようになるものが混ざっているよ。
- ◆ いいところに気付いたね。市のお金の使い道は、「今」必要なサービスの充実と、「将来」の活力あるまちの推進に分かれるんだ。現在だけでなく、未来のことも見越してお金を使っているんだよ。さらに、限りある財源を、

教育の費用の内訳

◆ 市では、将来を担う子どもたちのために教育の充実を力を入れているんだ。教育の費用の歳出の内訳を表2で見えてみて。幼稚園と小・中学校が対象だよ。

◆ 教育って、いろんなことにお金が必要なんだね。

どんな事業に重点的に配分するかも大切だよ。ぼくの専門分野、教育の費用を例に説明するよ。



表2 教育の費用(幼稚園、小・中学校)の歳出の内訳(平成25年度普通会計決算)

内容	金額
運営に必要な経費(給食費、光熱水費、備品、消耗品など)	28.0 億円
施設の改修費(小・中学校の耐震補強、エレベーターの設置、プール改修など)	38.1 億円
その他(就学援助、職員給など)	9.7 億円
合計	75.8 億円

☆...「今」必要なサービスの充実事業 ★...「将来」の活力あるまちの推進事業

決算を学んで レッドを救出!



新学力・体力向上3か年計画の策定
(専門支援員の配置)



中学校給食の実施



学校図書館支援員のモデル実施



小・中学校の耐震補強

●そうだよ。授業に必要なものをそろえたり、校舎や園舎、プールなどの設備を整備したり、給食を提供したりしているんだ。子どもたちが安心して健やかに学校や幼稚園で過ごすために、これだけのお金を使っているんだよ。

平成25年度の重点施策

●その中でも25年度に特に力を入れた4つの事業を左の写真で紹介するよ。

◆一つ目の、新学力・体力向上3か年計画ってなあに？

●茨木っ子ジャンプアッププラン28」という愛称がついているよ。茨木の子どもたちの学力と体力が伸びるよう、26年度から28年度にかけて教育委員会と学校が取り組むことを28項目にまとめているんだ。例えば、学校に専門支援員を配置して、子どもたちによりきめ細やかな学習支援をしているんだよ。この3年間の計画を立てる作業を、25年度に行ったということだね。

◆わあ、長い目で子どもたちの育成を

考えているんだね。

●うん、そうなんだ。この3か年計画は3回目で、これまでに20年度から22年度、23年度から25年度でも取組みを行っていて、その効果が学力テストの結果にも表れているよ。グラフ2を見て。

◆すごい！小学校も中学校も上がっているね！

●そのとおり。これは、毎年の学力テストの全国平均値を1としたときの、茨木市の小・中学校の平均値がいくらになるかを示したものだよ。小・中学校とも、22年度からはずっと全国平均を上回っているんだ。

◆本当だね。次の3か年計画も効果を発揮して、これまで以上に子どもたちの学力や体力が伸びればいいな。こうやって教育の充実にお金をかけていることが、お金を有効に使っていることなのかな。

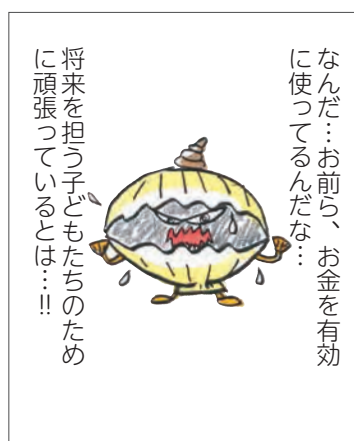
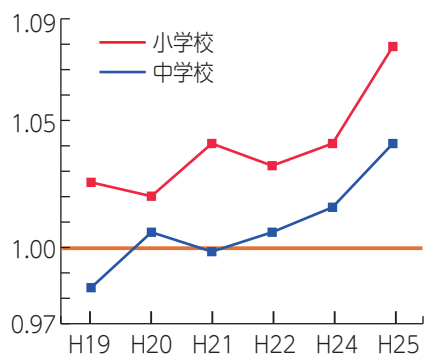
●そうだね。このほかにも中学校給食の実施や、読書を通して学力を育む図

書館支援員の配置、校舎の耐震補強なども、子どもたちの健やかな成長と安心な学校生活に欠かせないものとして充実に努めているんだよ。

最初の3か年計画が始まった20年度から、少しずつ学力があがっていることがわかるね！




グラフ2 全国平均と比較した学力の推移



やりくりの秘訣 はビルド&スク ラップ

オレンジ
より豊かな茨木市を追求
する熱き男



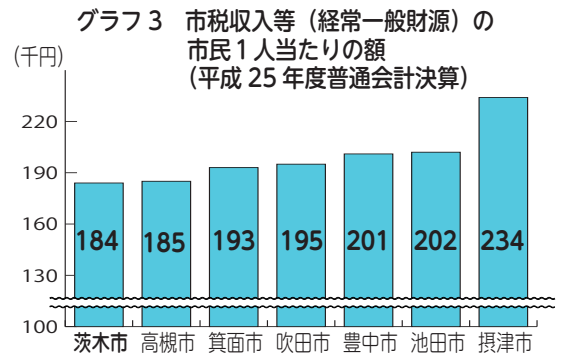
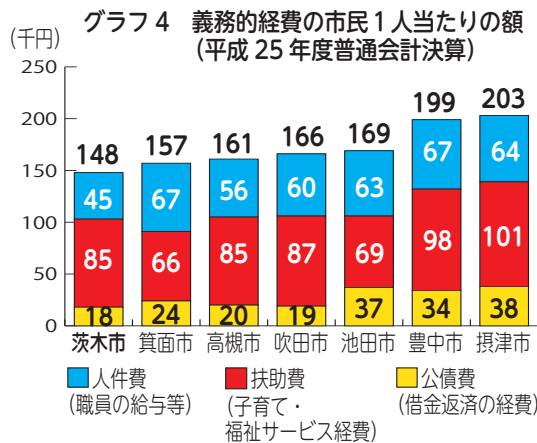
近隣市との比較で茨木市を知ろう

◆茨木市の財政の将来って…大丈夫と思いたいけれど、本当のところよくわからない。どうやって納得させればいんだらう。

オレンジ(以下♠)なんでそんなに弱気なんだ。みんなが市を想う熱い気持ちを持って、将来は安心だ。

♥ちよっと待って、それだけじゃあかんやろ。私が説明するわ。財政状況がどうなっているかを表す指標があるから、順を追って言うで。まず、収入の状況を表すグラフ3を見て。市税収入等の市民1人当たりの額、すなわち一般家庭の給料にあたるお金を北摂7市で比較したで。

◆あれっ、茨木市は北摂各市の中で一番税等の収入が少ないよ！福祉や教育の充実などいろんな事業を進めているけれど、収入が少なくて大丈夫なの？
♥そうやね。でもグラフ4も見てや。こっこのグラフも、茨木市が一番少



♥毎年支払わなければならない義務的な経費である職員の給与等の人件費や、子育て・福祉サービスなどの扶助費、借金の返済のための公債費について

ないね。

もう一つの大切な会計

水道事業会計を見てみよう

問合先 水道部総務課 ☎620・1690



水道事業会計ってなあに？これまで見てきた会計とは違うの？

特別会計のうちの一つやねんけど、水道事業って市が経営している企業だから、別に計算して決算を出すねん。



収益的収支(水をつくり家庭に水を届けるための経費と財源)

♥7,400万円の赤字になったで。でも、これは26年度までの財政計画に基づく水道料金体系の見直しによるものやねん。あらかじめ予定していた赤字で、これまでに積み立てた利益を取り崩し、補てんすることで市民に利益を還元してんねん。

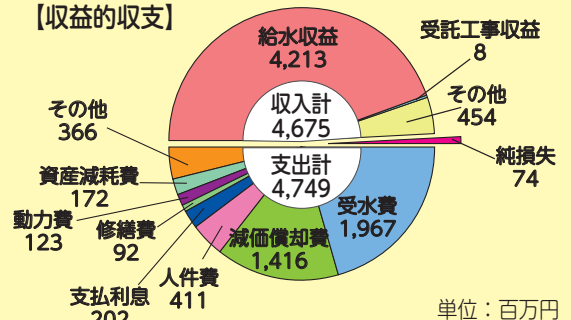
♠前年度よりは良くなっているぞ。収入の面では、水道料金(給水収益)や分担金が増加したから、前年度より0.7%増えたよ。支出では、人件費や、大阪広域水道企業団からの水道水購入費(受水費)を抑えて、前年度を1.5%下回ったんだ。

資本的収支(水道の施設等の建設や建て替えのための経費と財源)

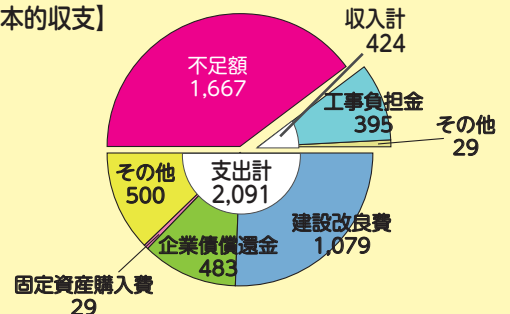
♥収入は水道施設や水道管などの工事に市に申し込んだ企業が支払うお金(工事負担金)が減少して、前年度を30.2%下回ったで。支出は水道施設の更新などのための工事費(建設改良費)が減少したから、前年度を17.6%下回ってん。

♠不足額の16億6,700万円は、水道施設などを更新するために蓄えた内部保留資金で補てんしたぞ。

【収益的収支】



【資本的収支】



市では、今後もやりくりを継続して会計の安定性を保ち、安全で良質な水を安定供給していくぞ。



決算を学んで レッドを救出!

表3 平成25年度決算に基づく財政健全化判断比率

	比率の説明	茨木市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	赤字なし	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	一般会計、特別会計等の全ての会計の赤字の割合	赤字なし	16.25%	30.0%
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合(比率は3か年の平均)	-1.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	将来負担が見込まれる債務の割合	-24.3%	350.0%	
資金不足比率	公営企業ごとの資金不足額が事業規模(料金収入規模)に占める割合	不足なし	20.0%	

◆ 表3を見てや。財政健全化判断比率っていうものがあるねん。

◆ 納得!ほかにはどんな指標があるの?

◆ 基準値との比較で健全性を確認

◆ ええ?なにそれ?

◆ 基準値と比べて、市の財政が健全かどうか判断できるねん。表の茨木市の欄を見ると、すべての項目で健全な数値となっているで。

◆ 本当だ!それじゃあこの先も何もしなくても安心だね。

◆ そうじゃないで。地道なやりくり、つまりビルド&スクラップに努めてきたから今の状況を保っているねん。

◆ ビルド&スクラップってなあに? 難しそう。

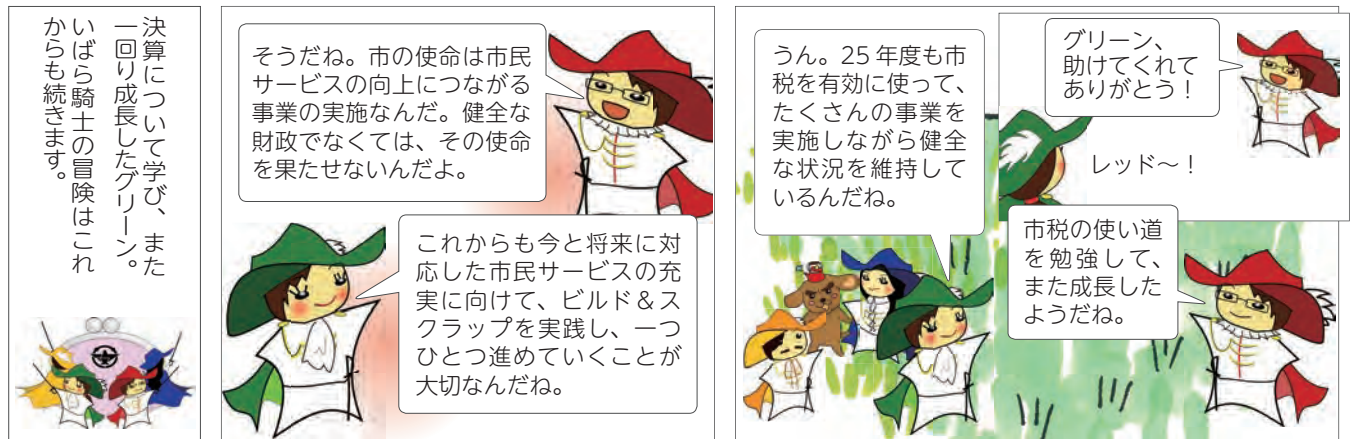
◆ ビルドは、これまで説明してきたようなサービスや事業を実施することやで。スクラップは、新しいサービスを実施(ビルド)するために、今まで実施してきたサービスを工夫したり、見直したりすることやねん。工夫や見直し(スクラップ)の例としては、公立保育所の民営化などの実施方法の変更や、環境衛生センターのごみ処理施設の運転を工夫して得たエネルギーを使ってより多くの電力を売ったことなどが挙げられるで。

◆ 今あるものを常に見直して、いろんなやりくりをしているんだね。

◆ そのとおり。健全な状態の今のうちから、将来も健全な財政を維持できるように、地道にやりくりを行うことが大切やねんで。

◆ エヘン。まったくその通りだ。

ビルド&スクラップ



いばら騎士は WEB でも活躍中!

いばら騎士と税の使い道

検索